

令和7年度
予算に対する

各会派の見解

未来を拓く区政運営を

立憲・国民・ネット・無所属議員団

本予算にも関わる「中野駅新北口駅前エリア再整備事業」は、現在見直しを余儀なくされています。一方、好調な歳入や堅調な財政運営により、区民サービス縮小や新規事業取り止めに至らず、区への影響は最低限となりました。未来の区民に歓迎され、中野サンプラザと同様に永く愛される施設となるよう、今後の取り組みを求めます。

歳入は、特別区税と特別区交付金が過去最高額となりましたが、物価高により厳しい状況にある区民を支えるとともに、今後のあらゆるリスクを想定した臨機応変な財政運営を望みます。歳出は、会派として要望してきたデジタル政策、不登校支援、再エネ設備

設置への補助、妊娠・出産・子育てトータルケア事業の充実、障害の理解促進・ふれあい交流事業など、区民の声にこたえた区の姿勢を評価します。基金は、概ね予定通りの積み立てができていますが、学校などの施設整備が滞りなく進められるよう、財政運営の考え方の見直しも検討すべきです。行財政運営に大きな影響を及ぼす次期基本計画、区有施設整備計画の検討について、精緻な積算に基づき実現可能性のある計画とするよう求めます。物価高によって実質賃金さがり続ける中で、区民生活を上向きの経済実感という光で照らすような、未来を拓く区政運営を強く望みます。

45年ぶりの予算修正案可決へ！

自由民主党議員団

中野サンプラザ再開発は突如、総工費が900億円増加しました。物価高騰等の社会情勢だけが理由ではなく、事業をここまで遅らせた行政・施行予定者（代表・野村不動産）の不手際もあり、前例がない事業認可取り下げとなりました。事業採算性を重視した分譲住宅が4割から6割に増床した見直し案が区の規定路線でしたが、サンプラザのDNAを全く継承していないタワーマンションは区民の理解を得難いと反発し、結果、白紙となりました。そして、令和7年度予算に含まれていた「中野駅新北口駅前地区市街地再開発事業の評価」は、行政・施行予定者が出す新サンプラザ再整備の事業計画にお墨付きを与えるのみで、区民・議会を納得させるものではないことが質疑で明らかになりました。そのため、我が会派は不要な予算と判断し、多くの議員と共に修正案を提出し可決されました。45年ぶりのことです。

予算全体について申し述べると、ラニンングコストである一般事業費は、過去5年間で年平均約28億円増加し、年率換算で約15%に達しております。また、物価高騰により工事関連費用は年々上昇の一途を辿っているにも関わらず、区財政の運営手法にはインフレへ対応する姿勢を全く見出すことができません。今後の不安定な社会情勢を乗り切れるか、大きな疑問が残ります。

区民生活を第一に誠実な区政運営を

公明党議員団

一般会計予算規模は約1950億円と前年度に比べ2・7%の減となった。特別区税や特別区交付金等の増により歳入は堅調であるが、歳出の減は中野四丁目新北口駅前地区の再開発関連経費の減などが主因である。

学校給食費無償化の継続や病児保育の充実等の子育て支援の強化、「軟骨伝導イヤホン」の窓口設置やCSWの導入は評価する。一方、高齢者等の住宅施策の充実や災害対策のためのトイレカーの導入、闇バイトなどに起因する個人宅への防犯カメラ設置など区民の安全安心への取り組みは、もう一歩の努力を期待する。最大の懸念事項は中野サンプラザ再

住民の願いが届く区政へ

日本共産党議員団

2025年度の一般会計予算は1949億9600万円と、過去三番目の予算規模となりました。区の基幹収入の一つである特別区税は、納税義務者数や一人あたりの給与所得の増加等により好調な状態が続いています。一方で、低所得者層は区内全世帯の3割を超え、経済格差が拡大しています。

新年度は、まちなかへのベンチ設置助成や聴力健診等が新たに実施されます。耐震改修助成の対象拡大、再エネ・省エネ機器導入補助や私立幼稚園等の入園料補助が拡充されるなど、住民の切実な願いにこたえるものが多く盛り込まれました。また、会派として長年求めてきた、低所得者等へのエア

中野区の100年先の未来に向けて

都民ファーストの会中野区議団

令和7年度予算案は一般会計において1949億9600万円と前年当初予算比2・7%、54億円減となりました。市街地再開発事業及び学校施設整備費等の投資的経費が減ったほか、新庁舎什器等の購入経費、退職手当や公債費等が減になり、前年度を下回る予算となりました。結果、まちづくり推進費が100億円、子ども教育費が30億円、総務費が28億円、公債費が25億円と合計180億円余りが減少しました。そのなかで、都民ファーストの会中野区議団の要望であるデフリンピックを契機とした聴覚障がい者の理解に関するイベントの実施、手話言語の啓発、デジタル機器の導入、再生可能エネルギー

ギー及び省エネルギー機器の導入に関する補助金の増額、2000年以前の新耐震を含めた住宅耐震改修助成制度開始など我が都民ファーストの会が要望し続けてきた内容が多数盛り込まれたことを評価いたします。その上で、4点指摘事項があります。①中野区の100年先の未来に向けて中野駅新北口駅前エリアのまちづくりを区民、区議会とともに進める取組②東京都の予算項目案を注視し、中野区民のための施策を早期に採用③予算精度そして執行率の向上④事業見直しを通じた事業の選択と集中の状況の明示。以上を踏まえたうえで、令和7年度の政策を執行することを強く希望します。

区議会だよりへのご意見、ご感想、ご要望などありましたら、今後の参考にさせていただきますので、郵送・電話・FAX・Eメールなどでお気軽に区議会事務局までご連絡ください。



〒164-8501 中野区中野4-11-19
電話 03-3228-5585
FAX 03-3228-5693
Eメール kugikaijimu@city.tokyo-nakano.lg.jp